

墨田区のお知らせ2011.7.1

NO.1643
(毎月1日・11日・21日発行)

すみだ

発行：墨田区(広報広聴担当) 公5608-1111代表 〒130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

2つの矩形が寄り添うシンボルは、墨田区在住・在勤者、企業やNPOなどと、区および区職員との協働・協治を表すものです。

- 2面以降の主な内容
- 2・3面…あなたも地域活動に参加しませんか
- 4・5面…第58回墨田区文化祭
- 6面…すこやかライフ
- 7・8面…講座・教室・催し

すみだと全国の旬間歳時記

●7月1日：すみだ・ボランティアの日

墨田区社会福祉協議会が昭和60年のこの日、すみだボランティアセンターを開設したことにちなみ、平成18年に制定。今年は、記念行事として、今月10日(日)に「すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム」が開催される。

<http://www.city.sumida.lg.jp/>

つなげよう やさしいまちを創る力 すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム

誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けていくためには、人と人がつながり、支え合う気持ちが必要です。そこで区では、地域での支え合いやボランティア活動、地域福祉について、一緒に学び、考え、行動を起こすきっかけとなるよう、今月10日(日)に「すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム」を開催します。ぜひ、ご参加ください。

人と人とのつながりで地域の福祉力をアップ

子どもへの虐待や、高齢者の孤立化など、地域で起こる様々な問題の防止や解決には、人と人とのつながりが欠かせません。

そこで区では、地域で暮らす皆さんが支え合う仕組みをつくり、区と区民、関係団体等が協力して地域福祉を推進していくことができるよう、今年3月に「墨田区地域福祉計画」を策定しました。この計画では、「ボランティア活動に興味はあるけど、きっかけがなくて参加できてい

ない方が多い」といわれる現状を踏まえ、ボランティア活動の促進に向けた施策を多く取り入れています。

この度、地域福祉とボランティア活動への参加を呼びかけ、「地域の福祉力」を向上させるきっかけとなるよう、活動中の方、活動に関心をもつ方などが一緒に学び、考え、交流する「すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム」を開催します。これから活動を始めてみたいという方も、ぜひ、お越しください。

【問合せ】▶厚生課厚生担当 公5608-6150 ▶すみだボランティアセンター 公3612-2940



笑顔の輪が広がります(小梅一丁目町会会館で行われている「ひまわりサロン」にて)

ボランティアってどんなこと?

「ボランティア」というと、何か特別なこと、難しいことと構えてしまう方も多いかもしれません。しかし、地域での声掛けや、見守り、お手伝いなど、皆さんが日ごろから行っている支え合いや、気遣いなども、立派なボランティアといえます。

やさしいまちを創るためには、「自分ができることで人の役に立ちたい」、「人の喜びが自分の喜び」、「困ったときはお互いさま」といった「ボランティア精神」が地域に根付いていくことが大切なのです。

日ごろからの会話のキャッチボールが地域での支え合いの基本です

「ひまわりサロン」(小地域福祉委員会・小梅一丁目町会)代表
山本町子さん(民生委員・児童委員)



●どんな活動をされていますか?

地域のボランティアの方と協力して、墨田区社会福祉協議会が推進する「小地域福祉活動(ふれあいサロン)」を、月1回、行っています。毎回、町会会館に20人ぐらいの方が集まり、お茶やお菓子を口にしながら、近所であったことや最近気になることなどを楽しくおしゃべりしています。また、歌やゲームを楽しんだり、時々、勉強会なども行ったりしています。

この活動がきっかけとなり、地域全体でお互いを見守ろうという気持ちが強まっているようです。

3月の地震のときも、皆さん自主的に近所の方の安否確認をされていたんですよ。

●この活動で心掛けていることや、やりがいとはどんなことですか?

「今日も楽しかった」と思って帰っていただきたいので、一言ずつでもいいから全員がお話できるよう促しています。地域での支え合いの基本は、日ごろからの会話のキャッチボールですからね。

「来月も来ますね」と皆さん楽しみにしてくれているので、励みになります。皆さんの地域でも、始めてみてはいかがでしょうか。

7月10日(日) すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム

【とき・ところ・内容】下表のとおり【入場料】無料【申込み】当日直接会場へ

とき	7月10日(日)午後1時半～4時半 *開場は午後1時
ところ	すみだリバーサイドホール2階イベントホール(区役所に併設)
内容	▶講演「つなげよう やさしいまちを創る力“地域福祉の推進”」(講師/日本福祉大学社会福祉学部准教授 原田正樹氏) ▶墨田区社会福祉協議会職員によるレポート「被災地を支える地域福祉活動」 ▶パネルディスカッション ▶ボランティア活動PR・交流コーナー(民生委員・児童委員、ボランティアグループ等の活動内容や、小地域福祉活動についてのPR展示、情報交換)



ボランティア活動の幅を広げていきたいです

すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム
パネルディスカッション出演者
向島中学校3年生(生徒会長) 鳥海銀河さん

●どんな活動をしていますか?

向島中学校では、毎年1回、東向島駅周辺の清掃活動を行っています。人目のつかないところに空き缶や、たばこの吸い殻などが捨てられていて、大きい袋で2、3袋にもなります。普段から、ごみは家に持ち帰るようにしているの

ですが、まちからゴミ捨てをなくするのは大変だなと思いました。

●今後、どんなボランティア活動をしていきたいですか?

清掃活動の場所や回数を増やしたり、資源を集める活動をしたり、ボランティア活動の幅をもっと広げていきたいです。